

## 説教余滴 2020 5月 17日 《アザレヤの花》

ケヤキが、例年よりも勢いよく、きれいな緑に装っています。

その下では、昨年同様、イワシャジンがうす紫の花を咲かせています。一本だけ。

「イワシャジンは、やや大型の多年草で、関東地方南西部や中部地方南東部の山地の岩場に見られます。秋に紫色の釣り鐘形の花が、岩場から垂れ下がるように開くさまはとても風情があり、人気の高い山野草の一つです。」とあります。それなのになぜか、五月に咲いてしまう。秋にも花が咲くので構わないのですが、変異型かもしれません。

その近くに、アザレヤが二鉢、置いてあります。ピンクの花をつけている鉢は、昨年10月のふれあいバザーで買い求めました。たくさんの花芽は開き切り、これで終わりと思い、外に置いたら再開しています。本来は5月開花だそうです。栽培種が冬に咲くようになっている、と学びました。花のない鉢は、白花でした。花森さんで、春先に購入。満開でした。これは、花期は終わったようです。次は何月に花をつけるのでしょうか。

常緑性の低木です。台湾原産の説もあります。オランダ、ベルギーなどで交配、栽培され、西洋種となっています。アザレアは、日光を好み、寒さに弱いという性質があります。寒い時期に出回っている苗は、温室で育てているものが多く、特に寒さに弱いことがあります。

ツツジとサツキの違いは、ご存じでしょうか。ツツジの花は大きい。ツツジの葉は柔らかく、サツキの葉は硬いという特徴があります。それだけでなく、サツキの葉は一般的に光沢がありツルツルとしたさわり心地です。それに対してツツジの葉の裏には毛が生えておりふわっとしているだけでなく、服に付着することもあります。サツキ、アザレアは五月が花時です。今回、初めて知りました。